

政経 かながわ

—神奈川政経懇話会—



一年の豊凶を占う相模原市の伝統神事「的祭（まとまち）」が6日、田名八幡宮（同市中央区水郷田名）で行われ、3歳から5歳までの同地区に住む氏子の長男4人が的に向かって矢を放ち農作物の出来を占った。



視点・点描	3
クリーンエネルギー元年	
経 済	4
日本再生、正念場の年に 「薄氷」の世界経済	
政治反射鏡	7
国民の意思、小政党へ 動かない自民党	
政 治	8
野田内閣の不支持過半数に 改造効果も未知数	
くらし2012	10
払い過ぎ年金、3年で解消？	
企業最前線	12
除染作業本格化 3月末から	
広告珍談	14
～キキメある人と顔と めでたし、めでたし	
経済ニュースから	15
神奈川新聞の経済ニュース	

事務局だより

◇横浜定例講演会

2012年1月27日(金)

13時30分～15時

ホテルモントレ横浜

講師は一橋大学大学院教授の
橘川 武郎氏

演題は「日本経済と電力・エ
ネルギー事情」(仮題)

◇横浜定例講演会

2月9日(木)

17時～18時30分

横浜ベイシェラトンホテル

講師は横浜市長の林 文子氏。

演題は未定

視点 点描



クリーンエネルギー元年

年明け早々から来年の話をする

と鬼が笑うとおしかりを受けそうだが、あえて筆を執らせていただく。

幕開けしたばかりの本年を1年後に振り返れば、私たちが暮らす郷土・神奈川にとって2012

年は、再生可能なエネルギーの普及・推進への第一歩が踏み出された、クリーンエネルギー元年として

多くの県民の記憶に刻まれるのではないか。そんな予感のする

年明け早々から来年の話をする

ニュースが年末に相次いだ。

最初に未来予想図を描いてみせたのは県だ。昨年12月22日、愛川

町の県有地に大規模太陽光発電所（メガソーラー）を整備すると発表

した。東日本大震災の教訓からクリーンエネルギー、とりわけ太陽

光発電の普及に熱心に取り組む黒岩祐治知事の目玉施策の一つ

で、2012年度中に着工し、13年夏ごろに運転を開始したいとい

う。

元県警グラウンドとして使用されていた広さ約3万2千平方メートルの敷地に太陽光パネルを敷き詰め、一般家庭用パネル600戸分に相当する年間2千キロワット規模の発電を行い、東京電力に売電する。

県によると、自治体単独でのメガソーラー事業としては昨年10月に運転を始めた新潟県阿賀野市の新潟東部太陽光発電所に次いで2例目。自治体が先行してモデル事業を行うことで、民間企業が公用地で事業を展開する呼び水にした考えだ。

この日は、川崎市と東京電力が川崎市扇島に共同で計画し、運転を開始したばかりの扇島太陽光発電所も報道陣に公開されている。隣接地で8月から先行操業する浮島太陽光発電所と合わせると最大出力は2万キロワットと国内最大級である。

る。臨海部から緑豊かな山間部へ。

自然エネルギーの地産地消の動きが競い合うように県内に広がる。そのスピードには目を見張るばかりだ。

クリーンエネルギーへの熱いまなざしは海上にも注がれている。

三菱重工業は、横浜市金沢区の横浜製作所で洋上風力発電に挑む。

同製作所に設置された風車にさび対策など洋上向けの改造を行う実証実験を今夏から開始。目的は英

国で計画されている大規模な洋上風力発電計画への参画だ。同社は

2015年までに出力500万キロワットの巨大な風車の受注を目指す。

横浜で磨かれた技術が海を越えて再生可能エネルギーの循環に貢献

する。そんな期待も今から膨らんでいる。

（神奈川新聞社

統合編集局次長 宮本 敏也）

